



平成 25 年 12 月 17 日

各 位

東京都品川区東品川四丁目 12 番 8 号  
株 式 会 社 S J I  
代 表 取 締 役 社 長 李 堅  
(JASDAQ: 2315)

問合せ先：  
取 締 役 大 槻 二 郎  
Tel 03-5769-8200 (代表)

## 当社の重要子会社である中訊軟件集團股份有限公司の業績予告に関するお知らせ

当社の重要子会社である中訊軟件集團股份有限公司（英文名：SinoCom Software Group Limited 以下、「SinoCom」といいます。）は、業績予告に関する開示を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. SinoComが公表した開示の要旨

SinoComの董事会は、2012年12月期、2013年6月期（6か月）及び2013年10月31日までの10か月の期間におけるSinoComグループの未監査の連結管理会計における予備監査を実施した結果、損失計上が見込まれることになりましたのでお知らせします。損失の主な理由は以下のとおりです。

- ・SinoComの財務報告通貨が香港ドルベースであるのに対して、売上の大半が円ベースであることから円安によって売上が減少したこと。
- ・直接的な人件費とその他の費用が上昇したこと。

なお、SinoComは2012年12月期及び2013年6月期（6か月）のSinoComグループの決算を完了させるための作業中です。この開示に含まれる情報は、SinoComグループの管理会計の予備監査のみを基礎としており、それらは監査委員会及び会計監査人によって精査され、かつ承認を得たものではありません。

又、2012年12月期、2013年6月期（6か月）及び2013年12月期のSinoComグループの連結決算は、未だまとまっていないため、董事会は現段階で関連する財務成果を正確に把握できる立場にはありません。関連する監査業務の進展が見られれば、適時さらなる情報を公表することになります。

本開示は、香港証券取引所の上場証券に関して適用される上場規則の規則第13.09条及び証券先物条例（香港法第571章）の第14A部の内部情報規定に従ったものであります。

#### 2. 当社に対する影響について

2013年6月期（2013年1月1日～2013年6月30日）の業績は、当社の2014年3月期第2四半期（2013年4月1日～2013年9月30日）の連結決算へ3か月の差異を以って反映されております。当社は2014

年3月期第2四半期(2013年4月1日～2013年9月30日)決算において、SinoComの2013年6月期の損失も考慮し、業績に反映させておりますので連結決算への影響はないものと考えておりますが、SinoComの現地の監査が未監査であるため新たな事象が判明した場合、当社の2014年3月期第3四半期(2013年4月1日～2013年12月31日)以降の連結決算に反映させる予定です。

また、SinoComの2013年7月から10月までの業績についても、当社の2014年3月期第3四半期決算以降に反映させる予定です。

なお、2014年3月期通期連結業績予想への影響は、他の要素も含め現在精査中であり、開示の必要性があると判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

注1：SinoComの事業年度が毎年1月1日から12月31日であり、決算日が当社連結決算と3か月間の差異があることから、連結財務諸表規則第12条第1項但し書きに基づき、SinoComの業績は3か月の差異を以って当社の連結業績に反映されております。

注2：SinoComグループの2012年12月期(2012年1月1日～2012年12月31日)の業績については、当社が連結子会社化した2012年7月以降の6か月間の業績を2013年3月期連結決算に反映しております。

注3：上記「1. SinoComが公表した開示の要旨」は、英文と中国語文で公表されたSinoComの開示文書を日本語訳し、簡潔にまとめたものです。全文はSinoComが公表した開示文書をご参照下さい。

株主の皆様には、ご心配をお掛け致しておりますが、何卒宜しくご理解の程お願い申し上げます。

以上